

事務事業名	《H24新規》桃源文化振興協会運営支援事業		所属部局	教育委員会		単位番号	2012- 900054				
	☐ 実施計画事業		所属課室	生涯学習課		課長名	小野義邦				
			所属担当	生涯学習担当		担当者名	笹本芳美				
基本政策	基本計画画体系	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
		22	生涯学習ネットワークの整備充実		01	一般	10	04	06	040	19
施策		35	生涯学習システムの推進		事業区分 ☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☒ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☐ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金						
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返（開始年度 24 年度） ☐ 期間限定複数年度（ ～ 年度）			法令根拠							
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 財団法人 桃源文化振興協会の職員7人分の人件費について補助金を交付する。 補助金内訳は、定期昇給等による増額分である。（平成23年度人件費を基準とする）				事業費の主な内訳（ 24年度 決算見込）						
					項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)			
					人件費補助金	1,157					
									計	1,157	

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
24年度活動実績	(財)桃源文化振興協会の職員の人件費について補助金を交付し、専門的な文化・芸術の企画運営の向上を図る。
25年度活動予定	
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
市民 桃源文化振興協会の職員	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
専門性のある職員の充実により、市民の文化・芸術に触れる機会が増え文化芸術活動への関心が高まる。	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
生涯学習等の環境が整備されることにより、市民の利用が増え、文化を育む都市づくりにつながる。	

⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない								
	<table> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア利用者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ発表会等事業開催数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア利用者数	人	イ発表会等事業開催数	回	ウ	
名称	単位								
ア利用者数	人								
イ発表会等事業開催数	回								
ウ									
⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない								
	<table> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ桃源文化振興協会の職員数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア人口	人	イ桃源文化振興協会の職員数	人	ウ	
名称	単位								
ア人口	人								
イ桃源文化振興協会の職員数	人								
ウ									
⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない								
	<table> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア発表会等事業参加者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア発表会等事業参加者数	人	イ		ウ	
名称	単位								
ア発表会等事業参加者数	人								
イ									
ウ									
⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない								
	<table> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア南アルプス市が文化にあふれたまちと感じる人の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア南アルプス市が文化にあふれたまちと感じる人の割合	%	イ			
名称	単位								
ア南アルプス市が文化にあふれたまちと感じる人の割合	%								
イ									

(2) 事業費・指標の推移				単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込・実績)	25年度 (予算・目標)	26年度 (次年度計画・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 (トータルコスト・目標)	年度
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円								
			県支出金	千円								
			地方債	千円								
			その他	千円								
			一般財源	千円		1,157	1,349	1,349	1,349	1,349		
	人件費	事業費計 (A)		千円	0	1,157	1,349	1,349	1,349	1,349	0	
		正規職員従事人数		人		1	1	1	1	1		
		延べ業務時間		時間		10	10	10	10	10		
		人件費計 (B)		千円	0	40	40	40	40	40	0	
		(A)+(B)		千円	0	1,197	1,389	1,389	1,389	1,389	0	
活動指標	ア		回		97,000.0	97,000.0	97,000.0	97,000.0	97,000.0	97,000.0		
	イ				51.0	50.0		50.0	50.0	50.0		
対象指標	ア		人		73,000.0	73,000.0	73,000.0	73,000.0	73,000.0	73,000.0		
	イ				7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0		
成果指標	ア		人		97,000.0	97,000.0	97,000.0	97,000.0	97,000.0	97,000.0		
	イ											
上位成果指標	ア		%		60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0		
	イ											

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	文化施設の管理運営業務を効果的かつ効率的に実施するため、専門性のある職員を充てたことによる人件費のうち定期昇給等による増額分。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	文化芸術面での専門性が優れている職員を配置しているので、文化振興活動がより活発になっている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	職員人件費を補助金として交付することについて、見直すべきである(監査委員)

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☒ 取り組みしている ⇒【内容↓】 ☐ 取り組みしていない⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過（取り組みしていない場合はその理由）	職員の昇給等の内容確認のため人事課と協議し、人件費の新年度予算要求額の決裁合議を受けた。
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	人事課においてヒアリングを行い、人件費の見直しを行った。

事務事業名	《H24新規》桃源文化振興協会運営支援事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-----------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 事業実施により各種開催事業の効率化が図られ、住民サービスの向上につながる。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 専門的知識を備えた正職員であり、市の関与は妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 ☐ 民間・NPO ☐ 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直し余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 専門職員の配置は妥当である。今後、自主企画事業の拡大も考慮しながら正職員数を検証する。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由↓】 職員の業務配分の見直し
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統廃合や連携を図ることはできるか？	☒ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) 桃源文化振興協会運営支援事業(12520) ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由↓】 (財)桃源文化振興協会の職員を対象とした人件費補助金交付事業である。 ☐ 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☒ 影響なし ☐ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 専門職員の不在は、文化芸術の振興衰退に影響する。 ☐ 休止・廃止ができる ☐ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 専門職員の不在は、文化芸術の振興衰退に影響する。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 事業経費は、人事課協議のうえ必要最小限の経費である。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 最低限の人件費で対応している。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 市民を対象として文化芸術の振興事業を行っている協会である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☐ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☐</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☐		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☐	☐																				
	維持	☐	☐																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について		(5) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果																						
		コスト削減優先度評価結果																						